

Ao Dai Fund Monthly Report

【お問い合わせ】

フリーダイヤル: 0120-411-965

ホームページURL: <http://www.news-sec.co.jp>

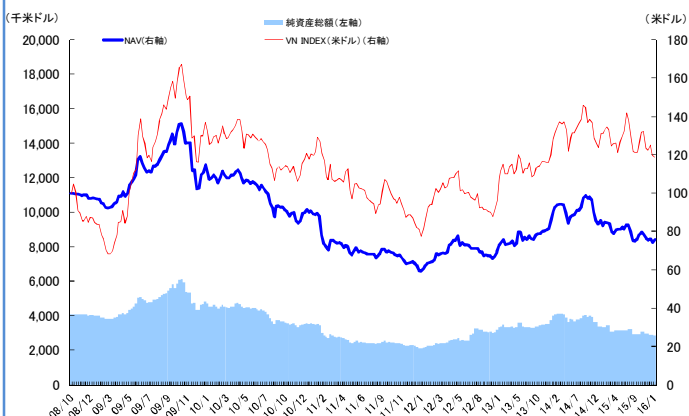


アオサイ月次レポート

16年1月 アオサイ運用実績 (16/1/29現在)

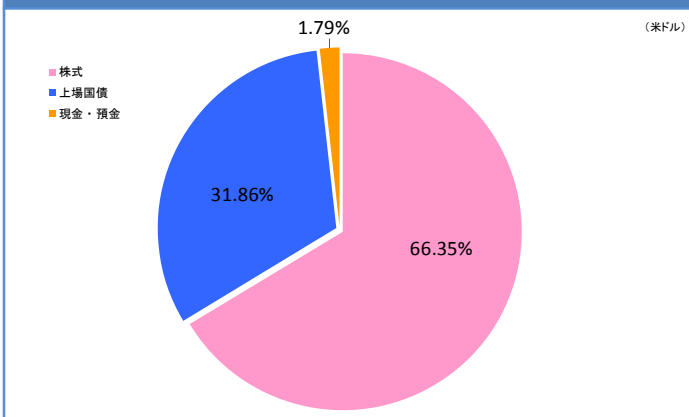
基準価額(米ドル)		
75.94		
前月比(15/12/31~)	-0.31	-0.41%
設定来(08/11/30~)	-24.06	-24.06%
年初来(15/12/31~)	-0.31	-0.41%
ファンド口数	前月比	
37,680	0	
ファンド純資産額(米ドル)	前月比	
2,861,795	-11,550	

NAVと純資産の推移 (設定来~)



※NAV(米ドルベース)、VN Index(米ドルベースを設定日100として指数化)

15年12月 組入比率(全資産) (16/1/29現在)



15年12月 組入上位銘柄(株式) (16/1/29現在)

	銘柄(コード)	市場	比率
1	ベトナムコンテナ (VSC)	V	18.75%
2	ベンチャー水産 (ABT)	V	9.03%
3	リー冷蔵電気工業(REE)	V	7.64%
4	軍隊商業株式銀行 (MBB)	V	6.00%
5	ペトロベトナム低圧ガス販売 (PGD)	V	5.82%
6	ベトナムダバコ (DBC)	H	5.30%
7	ペトロベトナム技術サービス (PVS)	H	5.11%
8	ペトロベトナムガス (GAS)	V	4.64%
9	FPT (FPT)	V	4.61%
10	ヴィンソン-ソンビン水力発電 (SRC)	V	4.29%
その他			28.81%
(計)			100.00%

※市場の「V」はHOSE上場銘柄、「H」はHNX上場銘柄

15年1月 組入上位セクター(株式) (16/1/29現在)

セクター	比率	
1	石油・ガス	19.13%
2	輸送・物流	18.75%
3	電力	11.93%
4	水産	10.74%
5	銀行・金融	8.85%
6	軽工業	7.56%
7	通信・IT	4.61%
8	肥料	4.08%
9	不動産開発・建設	1.06%
その他		13.30%
(計)		100.00%

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】
 加入協会 日本証券業協会
 主な事業 金融商品取引業

●本資料は、ニュースFPTキャピタルトラストベトナムバランスファンド(愛称 アオサイ)の運用状況に関する情報提供を目的に、FPT・ファンド・マネジメント・ジョイント・ストック・カンパニーが作成したレポートを基に、日本における販売証券会社であるニュース証券株式会社が作成したものです。●本資料は、ファンドの取引を勧誘又は推奨するものではなく、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。
 ●本資料は、信頼する情報に基づいて作成されていますが、その確実性・完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。また、本資料の過去の実績に関する数値等は将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。●ファンドは値動きのある金融商品等に投資しますので、基準価額が変動し損失が生じるおそれがあります。従って、投資元本が保証されているものではなく、ファンドの運用による損益はすべて投資家の皆様に帰属します。●ファンドは預金保険の対象ではございません。投資をされる際には、投資リスク及びご負担頂く手数料等の諸費用について目録見書(投資信託説明書)をご確認ください。

Ao Dai Fund Monthly Report

【お問い合わせ】

フリーダイヤル: 0120-411-965
ホームページURL: <http://www.news-sec.co.jp>



マーケットコメント

1月のVN指数は前月比5.8%下落、33.78安の545.25で引けた。同じくVH指数は前月比3.9%下落、3.09安の76.87で引けた。

1月の株式市場は調整が続き、資金流出を伴いながら両指数は急落した。1月末の時価総額は、昨年末から80兆5000億ドン減の1218兆ドンだった。取引所別では、ホーチミン証取の時価総額が6.6%減、ハノイ証取が3.0%減だった。VN指数は570から550まで続落し、その後、2014年5月に、中国との南シナ海危機時の最安値に次ぐ520まで下落する局面もあったが、底値圏に達したとみられ、VN指数は反発した。VNM、VICのような優良株が反発を牽引した。FLCなどの投機的な銘柄や、原油価格が1バレル、28ドルから34ドルに反発したことを受けて、石油・ガス銘柄が市場を下支えした。12月より流動性は若干改善したが低水準だった。ホーチミン証取の1日平均出来高は1億3200万株だった。1月のホーチミン証取の海外投資家の純売越額は前月比34.6%減の1兆3100億ドンだった。VIC、HPG、HAGなどの純売越が目立った。出来高も3240万株の純売越、海外投資家は3ヶ月連続で純売越を記録した。一方、ハノイ証取の海外投資家は、540万株、490億ドンの純買越だった。

1月の政府予算の支出は前年同期比9.7%増、予算比6.1%に相当する15兆360億ドンと推計された。内訳は、中央政府の支出が前年同期比12.6%増、予算比6.3%の3兆5590億ドン、地方政府が同8.8%増、予算比6%の11兆4770億ドンとなっている。

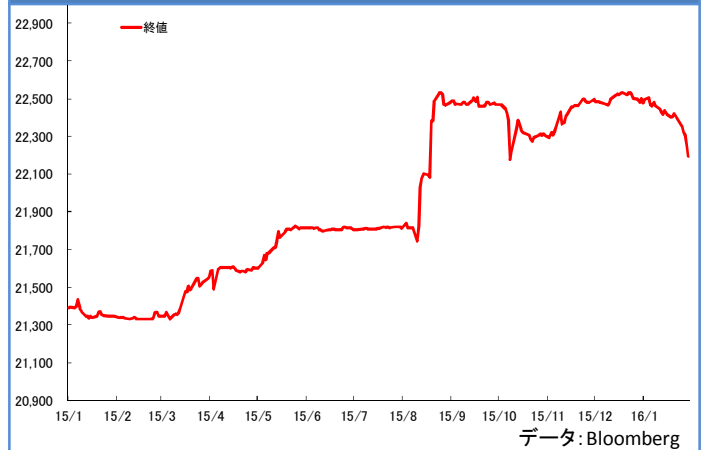
1月の消費者物価指数は前年同月比0.80%上昇、前月比変わらず。燃料価格安から運賃が下がり、運輸価格が前月比2.82%下落した。一方、テト休暇前の旺盛な需要を受けて、食品・食料品、飲料・タバコ、衣料・帽子・履物が各0.25%、0.44%、0.37%上昇した。特に畜産品・水産品価格が上昇し、サブ指数の食料品価格は前月比0.3%上昇した。商品価格の低迷は、政府のインフレ抑制を容易にしている。低インフレはまた、預金金利の安定を齎しているが、注目すべきは、いくつかの民間銀行が、中長期の預金金利を引き上げ始めている点だ。

株式指数データ (16/1/29現在)

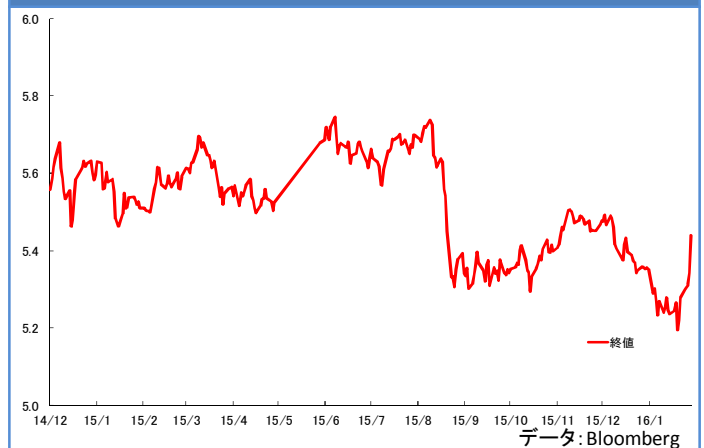
	終値	前月末比	
VN Index	545.25	-5.83%	
HNX Index	76.87	-3.86%	
(参考)	日経平均	17518.30	-7.96%
	NYダウ30種	16466.30	-5.50%
	MSCI	1562.18	-6.05%
	MSCI EM	742.37	-6.52%

VN Index: ベトナム・ホーチミン証券取引所株価指数
HNX Index: ベトナム・ハノイ証券取引所株価指数
MSCI: モルガン・スタンレー・ワールド株式指数
MSCI EM: モルガン・スタンレー・エマージング株式指数
データ: Bloomberg

為替推移 (VND/USD) (16/1/29現在)



為替推移 (JPY/VND × 1,000) (16/1/29現在)



ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】
加入協会 日本証券業協会
主な事業 金融商品取引業

●本資料は、ニュースFPTキャピタルトラストベトナムバランスファンド(愛称 アオザイ)の運用状況に関する情報提供を目的に、FPT・ファンド・マネジメント・ジョイント・ストック・カンパニーが作成したレポートを基に、日本における販売証券会社であるニュース証券株式会社が作成したものです。●本資料は、ファンドの取引を勧誘又は推奨するものではなく、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。
●本資料は、信頼しうる情報に基づいて作成されていますが、その確実性・完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。また、本資料の過去の実績に関する数値等は将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。●ファンドは値動きのある金融商品等に投資しますので、基準価格が変動し損失が生じるおそれがあります。従って、投資元本が保証されているものではなく、ファンドの運用による損益はすべて投資家の皆様に帰属します。●ファンドは預金保険の対象ではございません。投資をされる際には、投資リスク及びご負担頂く手数料等の諸費用について目録見書(投資信託説明書)をご確認ください。

Ao Dai Fund Monthly Report

【お問い合わせ】

フリーダイヤル: 0120-411-965

ホームページURL: <http://www.news-sec.co.jp>



マーケットコメント

1月の銀行間金利は、ほとんどの期間物で5%を超えてきており、特に短期物金利が上昇傾向を示した。預金金利と貸出金利は安定している。直近のドン建ての普通預金金利及び1ヶ月未満の定期預金金利は、年率0.8~1.0%、1ヶ月以上6ヶ月未満は4.5~5.4%、6ヶ月以上12ヶ月未満は5.4~6.5%、12ヶ月は6.4~7.2%となっている。優先分野に対する短期の貸出金利は6~7%、中長期の貸出金利は9~10%、非優先分野に対する短期、中長期の貸出金利は各6.8~9%、9.3~11%となっている。USD建て貸出金利は、短期が2.8~5.2%、中長期が5.3~6.2%となっている。

1月のベトナムドン・USDの外国為替レートは前月比0.18%上昇、前年同期比5.28%上昇した。取引バンドは基準レート±3%、1ドル、22,532ドンから21,219ドンとなった。ベトナム銀行が提示した為替レートは、買い気配値は22,290ドン、売り気配値は22,360ドンだった。

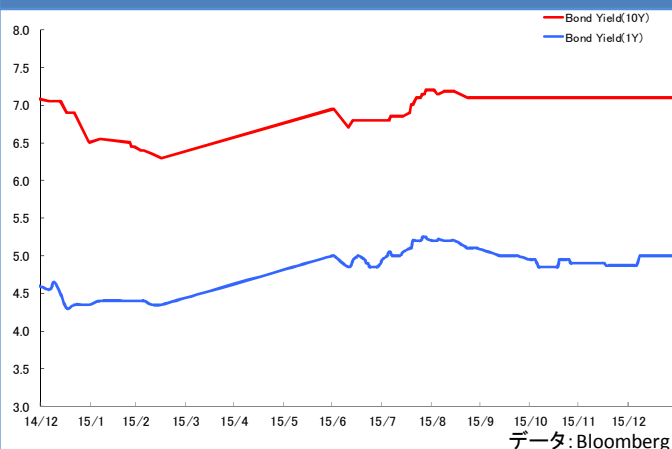
2015年の貿易赤字は輸出額の2.2%に相当する35億ドルだった。2016年1月の輸出額は前月比0.5%増の138億ドル、うち国内部門が8.7%減の41億ドル、FDI部門が4.8%増の97億ドルだった。1月の輸入額は前月比2.1%減の140億ドル、うち国内部門が11.9%減の59億ドル、FDI部門が6.4%増の81億ドルだった。1月の貿易赤字は輸出額の1.4%に相当する2億ドル、うち国内部門は18億ドルの赤字、FDI部門は16億ドルの黒字と推計された。

1月の購買担当者景気指数は51.5と、12月の51.3から2ヶ月連続で小幅上昇した。新規受注が急増し、生産が拡大したことからベトナム製造業は堅調が続いている。一方、世界的な購買価格と製品価格の低下からデフレ圧力が強まっている。前月以上に速いペースで新規受注数が伸びたが、顧客需要の高まりが、新規受注を押し上げる主因となっている。

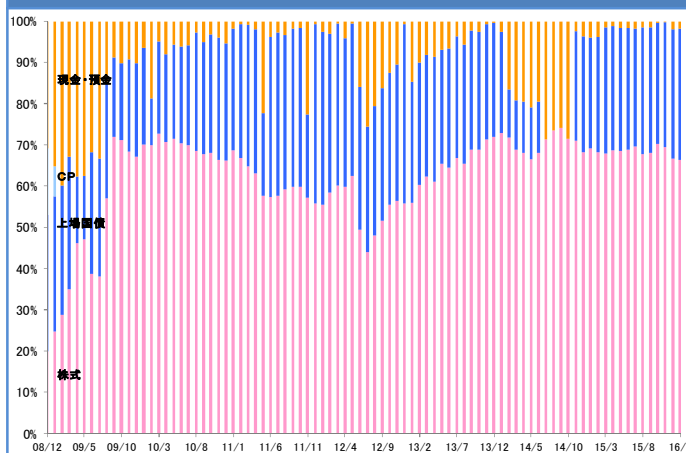
2015年第4四半期の企業の決算は概ね好調と予想され、短期的に株式市場を下支えするだろう。2月の株式市場は徐々に回復すると考える。優良株の価格調整は、長期投資家にとって、より魅力的だからだ。TPPは2月上旬に署名された。経済成長と自由貿易協定からの機会は、2016年の株式市場に多くの好機を提供するだろう。VN指数は560まで回復するとみている。調整が進んでも下値めどは515から520と考える。長期投資家に対しては、調整局面で株価の魅力が増した優良株の購入を勧める。

2016年1月の純資産に占める株式比率は66.35%となっている。12月は66.62%だった。

金利推移(1年&10年国債)(16/1/29現在)



資産組入れ比率の推移(16/1/29現在)



【管理運用会社】

FPT Fund Management Joint Stock Company.

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】
加入協会 日本証券業協会
主な事業 金融商品取引業

●本資料は、ニュースFPTキャピタルトラストベトナムバランスファンド(愛称 アオザイ)の運用状況に関する情報提供を目的に、FPT・ファンド・マネジメント・ジョイント・ストック・カンパニーが作成したレポートを基に、日本における販売証券会社であるニュース証券株式会社が作成したものです。●本資料は、ファンドの取引を勧誘又は推奨するものではなく、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。
●本資料は、信頼しうる情報に基づいて作成されていますが、その確実性・完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。また、本資料の過去の実績に関する数値等は将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。●ファンドは値動きのある金融商品等に投資しますので、基準価格が変動し損失が生じるおそれがあります。従って、投資元本が保証されているものではなく、ファンドの運用による損益はすべて投資家の皆様へ帰属します。●ファンドは預金保険の対象ではございません。投資をされる際には、投資リスク及びご負担頂く手数料等の諸費用について目録見書(投資信託説明書)をご確認下さい。

Ao Dai Fund Monthly Report

【お問い合わせ】

フリーダイヤル: 0120-411-965

ホームページURL: <http://www.news-sec.co.jp>



お申込メモ

お申込単位	10口以上 1口単位	
お申込価格	原則毎週金曜日を基準日とする受益証券の1口当り純資産価格 ※基準日の翌営業日に計算・確定され、基準日の翌々営業日に判明いたします。	
お申込日	基準日の1営業日前(原則毎木曜日) 12:00を締切といたします。	
払込日	1口当りの純資産価格判明日(原則毎週火曜日)を国内約定日として、原則基準日の翌金曜日を払込日といたします。	
お申込手数料	1口純資産価格(米ドル) × お申込口数に下記のお申込手数料を加算した金額を申し受けます。	
	1,000口未満	3.240% (税抜3.000%、税0.240%)
	1,000口以上10,000口未満	2.700% (税抜2.500%、税0.200%)
	10,000口以上50,000口未満	2.160% (税抜2.000%、税0.160%)
	50,000口以上100,000口未満	1.620% (税抜1.500%、税0.120%)
	100,000口以上	1.080% (税抜1.000%、税0.080%)
設定日	2008年10月31日(金)	
信託期間	無制限 ※ファンド資産が一定の水準を下回った場合は管理会社の裁量で償還する場合がございます。	
決算日	毎年12月末 ※設定後、最初の決算は2009年12月末といたします。	
営業日	東京、ベトナム、香港及びニューヨークにおいて銀行が営業することを許可された日といたします。 ※受託会社が作成するファンドカレンダーをご覧ください。	
分配方針	管理会社の裁量によって、分配することができます。	

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】
 加入協会 日本証券業協会
 主な事業 金融商品取引業

●本資料は、ニュースFPTキャピタルトラストベトナムバランスファンド(愛称 アオザイ)の運用状況に関する情報提供を目的に、FPT・ファンド・マネジメント・ジョイント・ストック・カンパニーが作成したレポートを基に、日本における販売証券会社であるニュース証券株式会社が作成したものです。●本資料は、ファンドの取引を勧誘又は推奨するものではなく、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。
 ●本資料は、信頼する情報に基づいて作成されていますが、その確実性・完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。また、本資料の過去の実績に関する数値等は将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。●ファンドは値動きのある金融商品等に投資しますので、基準価格が変動し損失が生じるおそれがあります。従って、投資元本が保証されているものではなく、ファンドの運用による損益はすべて投資家の皆様に帰属します。●ファンドは預金保険の対象ではございません。投資をされる際には、投資リスク及びご負担頂く手数料等の諸費用について目録見書(投資信託説明書)をご確認ください。

Ao Dai Fund Monthly Report

【お問い合わせ】

フリーダイヤル: 0120-411-965

ホームページURL: <http://www.news-sec.co.jp>



主なリスク

本ファンドには下記にあげるリスク等が存在いたします。ご投資に際しては、目論見書等ご覧いただき、本ファンドのリスクをよくご理解していただいた上で、投資家ご自身のご判断により、ご投資いただきますようお願い申し上げます。本ファンドへのご投資には、『投資確認書』を承りますのでご理解を賜りますようお願い申し上げます。

価格変動のリスク	本ファンドの主な投資対象は、ベトナムにおける有価証券等です。その投資対象である有価証券等の価格の変動に伴い、本ファンドの純資産額は大きく変動いたします。これにより、ご投資いただいた投資元本を割込むことがございます。
信用リスク	本ファンドが投資を行う有価証券等の価格は、その有価証券を発行する企業の経営及び財務状況の変化、ならびにそれらの外部評価の変化、その他の信用状況の変化等により、投資元本を割り込むことがあります。本ファンドは格付機関等による格付けを取得していません。
カントリーリスク	本ファンドの主な投資対象であるベトナムにおける有価証券等には、ベトナム特有のリスクが存在します。詳細は別途ベトナム株式等へ投資する際のリスクをご覧ください。
流動性リスク	本ファンドでは、買戻しに際して、原則 週1回の買戻し請求日にしか、買戻しができません。
為替リスク	本ファンドは米ドル建てであり、主な投資対象はベトナムにおける有価証券等であり、その通貨はベトナム・ドンで運用されております。原則として、為替ヘッジ等為替リスクを回避する手段を講じません。よって、本ファンドは為替変動による差損により、ご投資いただいた投資元本を割りこむことがございます。

ベトナム株式等へ投資する際のリスク

政治的リスク	ベトナムは、単一政党がすべての政府決定を担う社会主義体制であり、また現在、広範囲に及ぶ経済および法改革を実施している過程にある。改革の推進力が継続するかどうか、また、改革が成功であるかどうかは不確実である。さらに、ベトナムの法制は将来大幅に変更されることが予想されるため、将来の展開を予測または予期することは困難である。これらの変更がファンドの投資の価値に悪影響を与えることがある。
経済的リスク	ベトナムは日本をはじめ他国より国家支援を受けており、経済そのものへの他国の関与が大きい。また、輸出における米国および日本の比率が高く、主な輸出国である両国の経済動向に国内経済が大きく影響される可能性がある。政治体制の変化・政策の変化・法規制の強化等により、経済への大きな影響が発生する可能性がある。
関連法令の不確実性	ベトナムにおける有価証券市場および有価証券投資の法的枠組は最近改正され、本書提出日現在、完全には実施されていない。これがファンドの投資業績に影響を与える可能性がある。
法的リスク・税の不確実性	ベトナムの法律制度が投資家およびビジネス社会にとってより高い水準の信頼性および安心を与えるものとなるのはいつのことが予測することは困難である。加え、ベトナム税法ならびに税査定、徴収および税額控除制度は発展途上にある。今後法整備・税制度の変更により、当ファンドの運用に悪影響を及ぼすことがある。
ベトナム株式取引のリスク	ファンドが投資するベトナム証券市場に上場している株式の価格は、ベトナム証券市場が2000年に創設されたばかりの証券市場であり、先進国等のより発展した証券市場に比べ規模が小さく、流動性が乏しく、法整備等も緩く、証券市場全体が非常に不安定であることなどを理由に大きく変動してしまう可能性がある。
為替リスク	ファンドは、その他の通貨に自由に交換できないベトナムドン建てで投資を行い、収益を得る予定である。したがって、為替変動により、さらに、投資家はファンドが米ドル建てであり、投資家は、購入受益証券の買戻しの請求により米ドル以外の購入通貨で買戻し金を受領するときは、米ドルによる受益証券の価値が上昇しているにもかかわらず、その時の為替相場の状況次第では損失を被り、買戻し金が投資元本を下回る結果となる可能性がある。
未上場企業への投資リスク	ファンドは、資産の15%を限度にOTC取引を含む非上場株式への投資を行うことができる。非上場株式は、流動性が低く、情報開示においても十分な場合が多い。投資会社の財務状況の悪化や倒産等により価格が急激な低下もしくは価値が0になる可能性がある。
取引相手先リスク (カウンターパーティーリスク)	管理会社は現地証券取引を行う証券会社の選定に細心の注意を払うが、決済日が約定日と異なる取引において、取引の相手側が受渡を決済日に履行しない場合には受渡が遅れる可能性がある。また、最悪の場合(相手方の倒産など)には、受渡自体が約束どおりに行われぬ可能性がある。また、現地取次先証券会社による注文執行の際に、注文状況により執行が遅れる可能性がある。

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】
加入協会 日本証券業協会
主な事業 金融商品取引業

●本資料は、ニュースFPTキャピタルトラストベトナムバランスファンド(愛称 アオザイ)の運用状況に関する情報提供を目的に、FPT・ファンド・マネジメント・ジョイント・ストック・カンパニーが作成したレポートを基に、日本における販売証券会社であるニュース証券株式会社が作成したものです。●本資料は、ファンドの取引を勧誘又は推奨するものではなく、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。
●本資料は、信頼する情報に基づいて作成されていますが、その確実性・完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。また、本資料の過去の実績に関する数値等は将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。●ファンドは流動性のある金融商品等に投資しますので、基準価格が変動し損失が生じるおそれがあります。従って、投資元本が保証されているものではなく、ファンドの運用による損益はすべて投資家の皆様へ帰属します。●ファンドは預金保険の対象ではございません。投資をされる際には、投資リスク及びご負担頂く手数料等の諸費用について目論見書(投資信託説明書)をご確認ください。